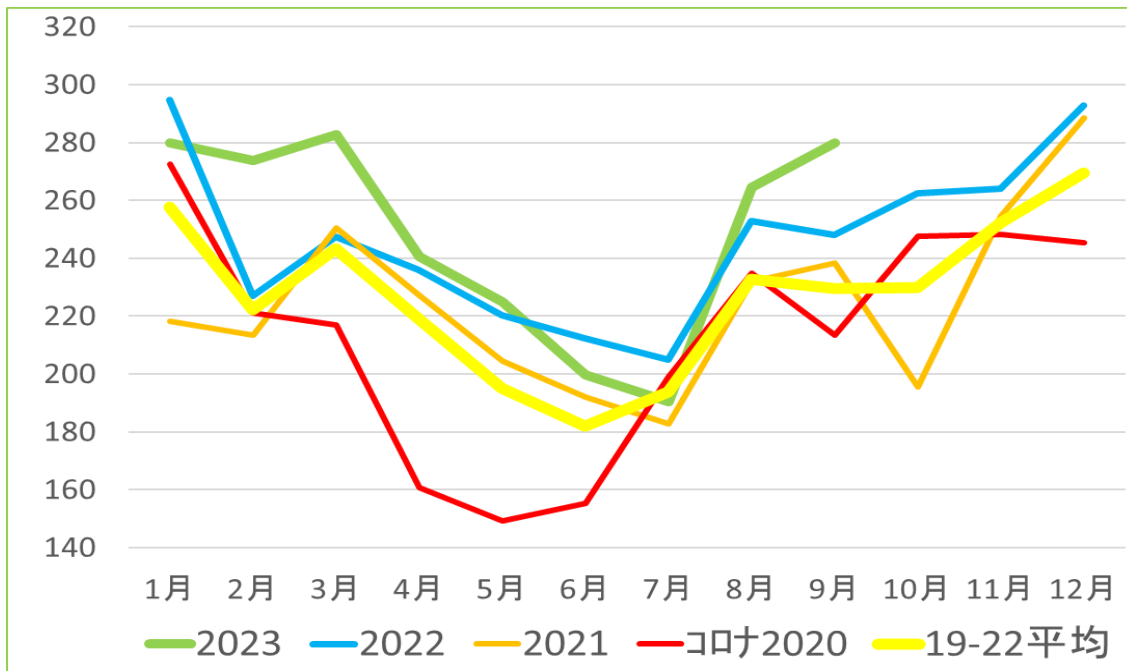


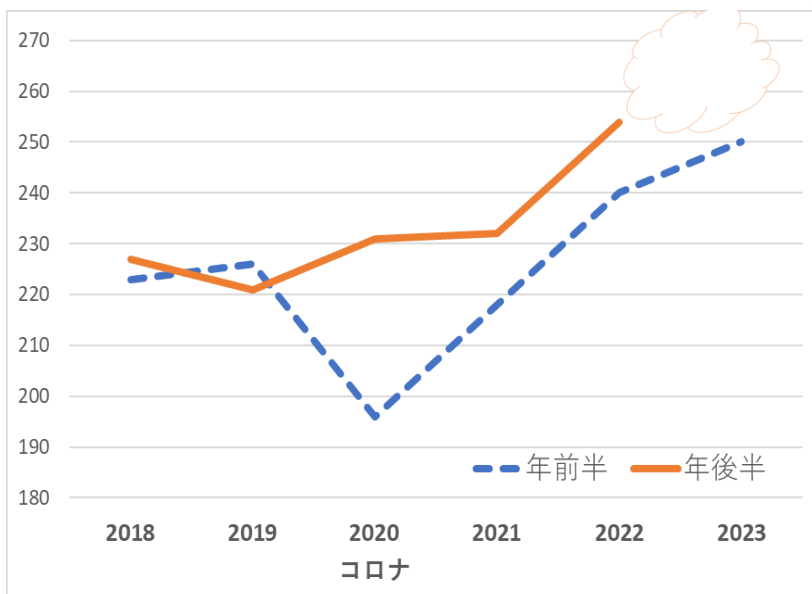
② ゆり切花相場は品種の更新で高進!?

下表は新聞相場を月ごとに単純平均したものです。

2020年4-6月はロックダウンにより低迷したものの、2021年はコロナ前水準に回復、2022年は好調、今年2023年は好調な白系やオリエンタルの無花粉(主にバンドーム)、八重の需要拡大などを受け、下図のように推移しています。



2016-17年頃から、中間産地（夏は暑く冬は寒い地域）が春と秋の旬以外の出荷量を調整する中、相場の底が生まれにくくなり、品質も底上げされ、全体の相場は上がってきました。日本の百合は北から南まで長い列島のリレー出荷ですから、各月ごとに気温と条件の良いエリアでの生産が高まり、旬以外の時期は夜間冷房など園芸(工学)技術を活用する近年の流れも功を奏しています。



★年の「前半」と「後半」を比較した相場の単純平均は左図の通りです。2020年前半はコロナパニック時（3月中旬～6月中旬）こそ安かったものの、冠婚葬祭需要がないにも関わらず、年後半は2019年以前を上回っておりました。

以上